



NISHINASUNO  
JAPAN

Service Above Self (超我の奉仕)

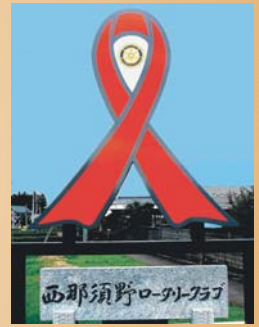
# 西那須野ロータリークラブ週報

Nishinasuno Rotary Club Weekly

● 太田 仁 西那須野ロータリークラブ会長テーマ ●

ロータリーの魔法をかけましょう!

第2440回(本年度20回)2025. 1. 28



RIテーマ

ロータリーのマジック

ステファニー A.アーチャック RI会長



地区テーマ

～ロータリーを楽しもう～

市田 登 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘

会長 太田 仁さん

司会

SAA 猪瀬 康雄さん

ロータリーソング

お客様紹介

石田 信行さん DX推進委員会委員

星野 仁さん 財団資金推進並びに恒久基金/  
大口寄付推進小委員会委員

柳場美枝子さん RYLA委員会委員

福本 光夫さん 国際奉仕委員会委員

鈴木 大介さん RLI委員会 FT委員

## 会長の時間

会長 太田 仁さん

1月16日(日) ホテルニューイタヤにてRLI  
セミナーパート3が開催されました。当クラブか  
らは、月井美好次期会長、田原直之次期幹事が参  
加しました。お疲れ様でした。

また、今週土曜日2月1日には那須野ヶ原剣道  
大会がにしなすのスポーツプラザ体育館で開催さ  
れます。参加いただける会員のみなさん宜しくお  
願い致します。

2025-26年度、地区委員の委嘱状が届いており  
ますのでお渡します。

地区発展のためにご協力をお願いいたします。

高橋 智純さん 諮問委員、運営委員、戦略計画  
委員、危機管理委員、規則手続委員、  
国際大会参加推進委員

渡邊 渉さん 第1グループガバナー補佐、地  
区運営委員、国際大会参加推進委員、  
危機管理委員

渡邊 将宏さん 地区幹事、ロータリー米山記念  
奨学会資金推進委員会委員長

小出 文雄さん 地区資金委員

青山 吉博さん 友地区委員

寺崎 貴志さん ローターアクト委員会委員



## 2月4日例会プログラム

12:30	開会宣言・点鐘	太田 仁会長
12:31	ロータリーソング	
12:33	お客様紹介	太田 仁会長
12:34	会員誕生・配偶者誕生・結婚祝	小中一成親睦委員長
12:36	皆出席・在籍年数祝	鈴木大介出席委員長
12:38	お食事の時間	
12:49	会長の時間	太田 仁会長
12:56	委員会報告	各委員長
12:58	理事会報告	月井美好次期会長
13:03	幹事報告	梅村悟志幹事
13:08	会員卓話「私の職業」	橋本貴行会員
13:28	スマイルボックス報告	君島基子スマイルボックス委員長
13:29	出席報告	鈴木大介出席委員長
13:30	閉会宣言 点鐘	太田 仁会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。無断欠席罰金 2,000円徴収。

SAA 猪瀬 康雄 (携帯 090-1100-6605)

FAX 0287-22-4152 TEL 0287-22-3708

会長 太田 仁 幹事 梅村 悟志  
会報委員会 委員長 齊藤 誠之・久保 世一  
星野 仁・石田 信行

## 幹事報告

### 幹事 梅村 悟志さん

- ・IM（インターシティミーティング）について

25年2月9日（日） 14：30～19：00

場所 グランドメルキュール那須高原リゾート&スパ（旧りんどろ湖ロイヤルホテル）

集合場所 乃木温泉ホテル

出発時刻 13：00

昼食は各自済ませてきてください

現地集合の方は14：30前に来てください

服装 ロータリーネクタイ（えんじ色）装着

- ・那須野ヶ原剣道大会について

参加される方は9：30開会ですので9：00ぐらいに会場にいらしてください

日時 25年2月1日（土）

場所 にしなすのスポーツプラザ体育館

時間 学生集合8：30 開会9：30

終了予定15：00

## 委員会報告

### 会計 中間報告

#### 永山 三好さん

2024～2025年度一般会計・スマイルボックス・ロータリー財団・米山関係など中間報告を行いました。

#### 田原 直之さん

2550地区ロータリークラブのリーダーを育成するRLIセミナーに参加して来ました。

## 「ロータリーの友1月号」記事紹介

#### 齊藤 誠之会員

今回「友の記事」の紹介の指名を受けました齊藤です。はじめて紹介となりますが、よろしくお願いたします。

早速ですが、横のページ、7Pからの特集記事、「いま、あらためて四つのテスト」の特集記事です。

メンバーの皆さんには釈迦に説法ですが1月は職業奉仕月間、その理念の礎となっている「四つ

のテスト」は、ハーバートJ.テラー氏（以下ハーブ）によって作られ、その著作権がロータリーに渡って70年になりその重要性がさらに増していることから、過去の記事から振り返るというものです。

次の8Pからその由来をひもとくと題したダレル・トンプソン氏の寄稿があります。

今から60年以上も前の大恐慌さなか一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案し、この指針が境地にあった会社を救うのに役に立ったということ、またやがてこの内容や信条は、国際ロータリー（RI）によって採用され広く知れ渡ることになり、今日ではロータリーの基本理念の一つとなっています。

創案は、七つのテストであったハーバート（ハーブ）氏は、やり手で卓越したセールスマンであり人の上に立つ人物であり、行動派で信仰心があつく動議を重んじる人物でした。大学を卒業後、従軍し、結婚を経て、石油会社に勤務した彼は、その会社を退職し、仲介業をはじめます。数年でこの事業にて成功を収めたのち、シカゴにあるジュエル・ティ社に入社、その後シカゴロータリーの会員となります。

この会社の次期社長候補にあったハーブは、破産寸前の状態にあったクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されます。同社は倒産の瀬戸際の状態であったが、ハーブはこの難事業を引き受け、ジュエル社をやめ、しかもこれまでの8割減の収入しかない同社の社長になりました。さらに運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資。

彼は同社を立て直すための手段として、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供すべく、およそ100語からなる文章をしたためます。

しかしこれは長すぎると判断し、それらを七つの項目にまとめたのです。しかし、これでも長いと判断した彼は、それを4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストになったというお話です。

真実か どうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるか どうか

簡潔さの中に深い意味を包含するこのテストは、人それぞれに捉えられますが、この会社では、あらゆることでこのテストを照らして判断されたということです。

同社の未来はどうなったのか、是非この続きは本誌をご覧ください。

また、11ページからは、Four-Way Testの訳語についても掲載されています。

二つ目は横軸4Pにある、S P E E C Hです。2023年5月21日に国際ロータリー第2500地区 第2分区のIM講演にて、小川三夫氏、(株)鶴工舎の総統梁が講演された要旨となります。

【伝統技法と職業奉仕の心】と題した記事です。見出しでは、昔から「職人は、利口でもバカでもなれず、中途半端じゃ、なおなれん」と言われたものです。それぐらい難しい職業です。そして職人は自分の仕事に対し言い訳が通りません。下手は下手、なんぼ言っても上手にはなりません。

おそらく、世の中の一般的な仕事は、頭で物事を考えるのですが、職人はそうではありません。体が思い、考え、知るのです。と書かれています。

高校2年の修学旅行で奈良の法隆寺を見た時、1300年前に建ったものと説明され、見上げているうちに五重塔を造る仕事がしたくなったことから始まりです。18歳の時に奈良県庁へ訪れます。そこで宮大工になりたいと伝えると、法隆寺に西岡樞光という棟梁がいるからそこを訪ねろと言われます。

ここでは、長男の西岡常一棟梁がおり、小川氏には、「遅い、せめて15歳で来いと、それに今は仕事がない、食べていけないのでやめておきなさい」と言われてしまいます。

それでも小川氏はあきらめずに粘ります。

この先のエピソードを少しだけ紹介しますが、残りは是非お読みいただければと思います。

- ・工は伝授せず、見て習え  
(刃物を研いで3カ月ぐらいたった頃常一棟梁が納屋に来て鉋を引いてくれた、その鉋くずを窓ガラスに貼り、同じようになるまで研いで削りの繰り返し、手本はこの鉋くず一枚であった)
- ・木は生育の方位のままに使え  
(現在の建物のように設計図が準備され寸法が決まっていた規格化されたきれいな材をくみ上げて終わりということではなく、当時は、のこぎりもないなか、木を割って製材していた。そんな宮大工には、生育環境のまま材木として使

なさいという言葉があります。

- ・伝えても伝わるものが知識、直接、感じるものが知恵

(伝えても伝わるものが知識、体から湧いて来るものが知恵ではないでしょうか。知恵は日常の生活や経験の中で身に付く「技」という形で現れる。ですから職人技を自分のものにするには知識だけでは無理。そこに知恵が入ってこそ、自分のものになっていく。)

- ・無駄をさせて、無駄に気付かせ、無駄をなくす  
(宮大工の世界では、教わることは甘えにつながってしまう。初めから教えず、本人に学ぶ気持ちが湧くまで待つ。その瞬間が立ち上がるまで教える側は待たなければならない。黙って放っておく、捨てて、育てるということです。目的地までたどる道は沢山あっていい。遠く回り道をする子、遅くなる子は待ってあげればいい、まだ一人前でない時に、無駄なこと、下手な考えを重ねることが大切です。)

- ・ただただ刃物を研ぎなさい  
(常一棟梁から最後のころ、煎じて煎じ詰めれば最後は勘、という話を聞いた。その勘とかコツと言われるものは人に直接伝えることができません。結局、技を得ようとする人が、自らの練習と努力で、自分のものにしていかなければならない～中略～ ちょっとした違い、切れ味、美しさを感じ取れるように・・・)

とあります。

どうぞ雑誌に目を通して下さい。ご清聴ありがとうございました。



出席報告		出席委員 柳場美枝子さん	
1月28日 第2440回(本年度第20回) 会員数44名			
出席	20名	前回1月21日	2439回例会
欠席	22名	欠席	15名
出席免除者	0名	M・U	3名
出席率	47.60%	修正出席率	64.20%